

## 日本学校保健学会 第67回学術集会

日時：11月5日（金）～7日（日）

開催方法：

【Web配信】メイン企画はライブ配信、その他の企画はオンデマンド配信（メイン企画の一部については、11月8日（月）以降、11月末までオンデマンド配信予定）

【愛知学院大学日進キャンパス】メイン企画に参加できますが、参加人数を限定します。

テーマ：学校保健、その原点に立ち返る

**プログラム**：大会長講演「学校保健、その原点に立ち返る」大澤功（愛知学院大学教授）／特別講演1「新型コロナウイルス感染症：現状と課題」脇田隆子（国立感染症研究所所長）／2「新しい時代における養護教諭の実践・養成・研修の課題と展望—ニューノーマルやデジタル化等を見据えて」（愛知教育大学特別教授）／教育講演1「学校現場の教育実践からエビデンスを生み出す方法とその課題」古田真司（椋山女学園大学生生活科学部教授）／2「食物アレルギーから子どもたちを守る」伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターセンター長）／3「保健室での外傷初期対応から病院での治療・アフターケア」鳥山和宏（名古屋市立大学医学研究科形成外科学分野教授）／4「子どもにケガはつきものか？—「見える化」活動の成果報告」内田良（名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授）／他

**参加申込開始（通常）**：10月1日（金）（11月30日までを予定）

**参加費（通常）**：一般7000円、学

生3000円、演題集費1800円

**大会事務局**：愛知学院大学心身科学部健康栄養学科 渡邊智之

✉ jash67@dpc.agu.ac.jp

**運営事務局**：株式会社ブランドウ・ジャパン

☎ 03-5470-4401

✉ jash67@nta.co.jp

## 第27回日本精神保健 社会学会学術大会

日時：11月23日（火・祝）

開催方法：Web開催（Zoom内会議室）

テーマ：コロナ禍のストレスを乗り越えるレジリエンスの課題—個人の課題と社会の課題

**内容**：基調講演 宗像恒次（SAT情動認知行動療法研究所）／シンポジウム1「新型コロナウイルス感染症の診察—精神科医の立場から」福田陽明（都立松沢病院）／2「神戸市における新型コロナウイルス感染症の訪問看護の経験から—訪問看護師の立場から」藤田愛（北須磨訪問看護・リハビリセンター所長）／ディスカッション

**参加申込**：下記メールアドレス（学会事務局）に、氏名、メールアドレス、電話番号を記載の上、送信

✉ murakami@t-mental.co.jp

**参加費**：一般3000円、学生2000円

**参加費振り込み期限**：11月12日（金）

**問い合わせ先**：日本精神保健社会学会事務局（担当：村上）

☎ 03-3986-3220

## ブックスタート 全国研修会 2021

日時：11月25日（木）

開催方法：Web開催（Zoomを使用したオンライン配信）

**概要**：これまで毎年、都道府県単位で開催していた「ブックスタート研修会」。今年度は「全国研修会」と名称を改め、オンラインにて開催する。テーマは「親子の愛着形成を支える地域協働のかたち」。母子保健担当課、子育て支援担当課、図書館、教育委員会、ボランティアなど、事業に関わる皆さんのご参加をお待ちしています。

**定員**：なし（事前申込制・参加無料）

**申込受付**：下記URLから

URL [www.bookstart.or.jp/news/2021\\_zenkokukenshu](http://www.bookstart.or.jp/news/2021_zenkokukenshu)

**プログラム**：講演「地域で育もう、子どもと家族！—社会の宝物を預かる私たち」三石知左子（東京かつしか赤十字母子医療センター院長）／報告・事例紹介「読みみかせの体験と絵本のプレゼントがもたらすもの」「コロナ禍のブックスタート」

## 第80回 日本公衆衛生学会総会

日時：12月21日（火）～23日（木）

**会場**：京王プラザホテル（東京都新宿区、21日・22日）、東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文京区、23日）

テーマ：社会の組織的取り組みと協働で人々の健康をまもる

**事前参加登録期限**：10月29日（金）

**準備委員会事務局**：東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学内

**運営事務局**：株式会社コンベンションリンケージ内

☎ 03-3263-8688

✉ jsph80@c-linkage.co.jp

## 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会 10周年記念大会 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing 合同開催

日時：2022年1月8日(土)～9日(日)

テーマ：平時が大事！リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス

プログラム：第10回学術集会会長講演【合同】「災害対策における保健師の力」松本珠実（大阪市健康局健康推進部保健主幹）／学術集会会長講演【合同】「公衆衛生看護技術の開発と実装」岡本玲子（大阪大学大学院公衆衛生看護学教授）／基調講演【合同】「保健師：だれひとり取り残されない地域を見守る専門職」中村安秀（日本WHO協会理事長）／基調講演【合同】「疫学の研究成果を保健活動に活かす—生活習慣病予防，エコチル調査など」磯博康（大阪大学大学院公衆衛生学教授）／シンポジウム【合同】「各国のCovid-19対策における保健師活動の実際と展望」：「日本より」山本祐子（大阪府健康医療部健康医療総務課参事），「米国より」Mary Koslap-Petraco（Adjunct Clinical Assistant Professor, Stony Brook University School of Nursing），「豪州より」Allison Roderick（Manager- Contact Management; COVID-19, at Communicable Disease Control Branch in South Australia），「韓国より」Dosoon Park（Gong-Jin Primary Health Care Post），「ナイジェリアより」Stella Iwuagwu（Executive Director, NPO; Centre for the Right to Health）／招へい講演【JAPHN】「貧困・虐待……最底辺のリアルと

向き合って」石井光太（ノンフィクション作家）／特別講演【JAPHN】「日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望」麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）／特別講演【JAPHN】「保健所におけるCOVID-19に関わる統括保健師の活動」山崎初美（神戸市健康局保健企画担当局長）／シンポジウム【JAPHN】基調講演「高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今」河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学教授）／Invited Lecture【GNPHN】「精神障害者の脱施設化後時代における政策とプログラム：アメリカの経験」Phyllis Solomon（University of Pennsylvania, Center for Public Health Initiatives）／Invited Lecture【GNPHN】「10代母親のACE（逆境的小児期体験）が（育児・子どもの発達に）及ぼす影響の理解」大川聡子（関西医科大学看護学部准教授），水粉茉莉香（門真市健康増進課）／Invited Lecture【GNPHN】「日本の保健師によるニーズに基づく地域ヘルスケアシステムの開発」吉岡京子（国立保健医療科学院生涯健康研究部上席主任研究官）／Invited Lecture【GNPHN】「地域保健と学校保健の連携—そこに壁のない体制をめざして」中村富美子（静岡県沼津市立大岡中学校養護教諭）／教育講演【JAPHN】「新型コロナウイルスとメンタルヘルス対策」高崎正子（キオクシア株式会社四日市工場総務部健康支援センター）／教育講演【JAPHN】「災害に強い地域コミュニティの形成と地域との協働」生田英輔（大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授）／セミナー【JAPHN】「地域の社会課題を解決するためのデータヘルス計画と政策形成」野口緑（大阪大学大学院医学

系研究科公衆衛生学特任准教授）／セミナー【JAPHN】「こころを動かす行動経済学（ナッジ理論）の活用」高橋勇太（PolicyGarage理事）／セミナー【JAPHN】「日本の母子保健の変遷と保健師に期待すること」加藤則子（十文字学園女子大学教育人文学部教授）／企画展【合同】「丸山博先生（元大阪大学衛生学教授）が遺したもの—「生」を衛る保健師へのメッセージ」／オンライン交流会【合同】「時差にも負けず，言葉の壁も超えて，唄って踊って，世界の保健師&仲間であつたろう！」

※【GNPHN】の表記があるプログラムは国際学会参加者限定

※【合同】と【GNPHN】のプログラムは日本語字幕付き

参加登録期間：

【事前】6月1日(火)～10月29日(金)

【一般】10月30日(土)～1月18日(火)

参加費：

【事前】会員1万円，非会員1万1000円，学生3000円，ワークショップ1万円

【一般】一般1万1000円，1万2000円，学生3000円

学術集会事務局：大阪大学大学院公衆衛生看護学

☎ 06-6879-2550

✉ phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp

運営事務局：株式会社日本旅行大阪法人営業統括部 MICE 営業部

☎ 06-4256-3869

✉ 10th\_japhn@nta.co.jp